

生活文化常任委員会資料
2021年（令和3年）3月9日
市民生活局産業振興室産業政策課

ウイズコロナ感染対策助成事業の実施状況について

全国的にコロナ禍の早期収束のめどが立たない中、今後はウイズコロナとして、安全な市民生活と経済の両立を果たしていくため、とりわけ感染の恐れの高い飲食店を中心とした店舗を対象として実施しました。

実施にあたっては、店舗のとりまとめ役として、明石飲食業組合などの飲食関係組合、市内商店街などに協力をいただき、店舗との連絡調整や組織単位でのウイズコロナの自主事業等を実施していただきました。

また、これを機会に新規組織、新規加入店舗などがあり、組織化が推進され互助の機運が高まったと考えられます。

1 事業の概要

●組合、商店街全体を通じた対策費用として

1 組合等 50 万円（加盟店舗数が 50 未満）、100 万円（加盟店舗が 50 以上）

●店舗での対策費用として

1 店舗 5 万円

2 実績

- 31 組合等、944 店舗
- 補助額合計 6,770 万円
- 新規組合等 5 組合等（68 店舗）
- 既存組合等への新規加入店舗 70 店舗

3 主な取り組み

- 消毒液、検温計、アクリルボードなどのコロナ対策物品の整備
- 来客へ、マスクなどの感染症対策啓発グッズの配布
- コロナウイルス感染症対策の勉強会の開催 など